

国立大学法人  
奈良女子大学通信

# ならじよ 奈良女 Today

vol.  
26  
July  
2016

特集

Special Feature

ならじよ  
×  
グローバル

古都奈良で国際感覚を養う  
「ならじよ」から世界へ  
世界への足がかり  
世界に通じる奈良女の語学授業を探る

LE THI THANH HAI  
(レティタンハイ)  
生活環境学部生活文化学科  
科目等履修生  
出身国:ベトナム

LE QUYNH CHI  
(レークインチー)  
生活環境学部生活文化学科  
特別聴講学生  
出身国:ベトナム

# 「ならじよ」から世界へ

「グローバル人材」という言葉が言われるようになって久しくなりますが、奈良女子大学も世界で活躍する女性の育成に取り組んでいます。世界のニーズに寄り添い、国際人を育てる奈良女の今を、学長自らにお伺いします。



## 今岡春樹学長が語るグローバル人材と大学

「グローバル人材」という言葉は最近の大学政策のキーワードとなっています。世界は小さくなり、日本単独で経済を回すことは不可能な時代になりました。中国の市場経済への参加や欧州連合の設立など国際社会の大変動を経て、経済が一国では制御できない時代を迎えました。一方で情報技術の進展により、変化の速度はいやがうえにも増してきています。日本人の教員が日本人の学生を相手に、日本語の教科書で日本語を使いながら教育する大学モデルが通用しなくなってきています。近い未来の大学図書館は、国際空港のラウンジのようになると言われています。奈良女子大学は、日本語を習得した留学生だけでなく、主として英語を話す留学生の受け入れを活性化させる決心をしました。この背景には国立大学のグループ分けがあります。本学は特色を持って拠点となるグループに所属します。特色の一つは女子大学であるということです。韓国、中国の次にアジアを牽引しており、女性の潜在能力が大きいASEANを視野に入れています。先進国では女性の理工系分野での高度な活躍が期待されていますが、ASEANではむしろ社会の中堅層での女性の活躍が期待されています。

さて、グローバル人材とはどのような人材でしょうか。必要最低限の能力として3つに絞ります。まず自立です。これは自分の意見を持ち、それを他人に伝える能力を言います。本学では教養教育の「パサージュ」があります。この「パサージュ」を利用して自分を磨いてください。二つ目は他人が大切にしているものを理解する能力です。通常、真善美といいますがそのような審美眼を養ってください。幸い奈良には多くの文化遺産があります。その大切さを感じてください。特に仏像の豊かさでは奈良は世界一です。三つ目が語学、とりわけ英語の能力です。読み・書きは無論大切ですが、聞く・話す能力を身に付けてください。大学内には英語をトレーニングする機会がいろいろあります。ぜひ活用してほしいと思います。

チンパンジーの研究で有名な京都大学の松沢教授は、「人間は写真のように記憶する能力と引き替えに、他人が何を欲しているか想像する能力を手に入れた」と、ある番組で説明していました。長い人類の進化の過程で獲得している、潜在能力を引き出し活用してください。

2016年5月に、開発途上国のバングラデシュへ行きました。当地出身でノーベル文学賞受賞者の詩人タゴールの詩の一節が私に響きました。それを皆さんに紹介します。

Let me not pray to be sheltered from dangers, but to be fearless in facing them.

※「パサージュ」…1回生の最初に、学生が自分で選択する少人数のセミナー。高校とは異なる大学の学問を体験する入り口の授業。

## 留学対談

奈良女では、語学の習得を目的とする2週間〜1ヶ月の短期留学や、専門分野を学ぶことを目的とした交換留学の制度があります。

今回は、行先も期間も異なる3人の留学経験者に、実際行ってみて感じたことを語ってもらいました。

※対談時、イギリス留学中だった金池さんはスカイプで参加

### どこの国でどんな留学体験をしましたか？

**浅井** 1回生から2回生になる間の春休みを利用して、短期留学でニュージーランドに行きました。さらに今年の夏から、再びニュージーランドのリンカーン大学へ交換留学に行く予定です。



**近藤** 2回生の夏休みに短期留学に行った後、3回生の秋頃から休学して約2年間の交換留学を経験しました。行先はいずれも中国の南京大学でした。



近藤 春月(はるつき) 文学部 人文社会科学 社会情報学コース4回生 出身高校:香川県大正前中学・高等学校(香川県)

### 留学したいと考えたきっかけは？

**浅井** 奈良女に入学するま

では、飛行機に乗ったことも海外に行ったこともありませんでした。留学には興味があつたのですが、初めての海外で自らプランを立てるのは難しいと思ひ、学内の語学研修制度を利用することにしました。短期留学で日本とは違う文化に触れたことで、自分の考え方が変わったことがとても面白かったので、長期の交換留学にも挑戦することにしました。

**近藤** 短期留学は、友達に誘われたことがきっかけでした。それまでは「日本人はあまり良く思われていないのでは？」と思っていたのですが、実際に行ってみると皆さんフレンドリーに接してくれて、とても距離が近く感じました。日本人のフィルタを通さない中国をもっと深く知りたくなり、交換留学に行くことを決めました。

**金池** 私は大学に入って何か新しいことを始めたいと考えて、最初に思い浮かんだのが留学でした。国際交流センターで「長期的に海外に行きたいと思うなら、まずは短期留学を経験してからのほうがいいよ」とアドバイスしてい

ただったので、まずは短期留学でニュージーランドへ行きました。そこでやはり長期間の滞在も経験したいと思い、今に至ります。

### 準備や勉強は大変でしたか？

**浅井** 短期留学で「自分はこんなに英語が話せないのか」と衝撃を受けました。日本の英語教育はリスニングライティングリーディングが中心で、スピーキングがほとんどない状態なんだと気が付いて。現地ですぐ友達と仲良くなりたくて、頑張るようになりました。交換留学に行くにはTOEFLスコアというスコアが必要だったので、それに向けて勉強することで成長したと感じています。

**近藤** 勉強は独学で？  
**浅井** ほとんどそうですが、スピーキングだけは相手がいないと練習できないので、留学に来ていたベトナム人の友達に頼んだりしました。半年ほど必死でやりました。  
**近藤** 中国の場合は必須のスコアや基準がなくて、あまり準備したという記憶がないで

奈良女子大学にはさまざまな強みや特色がありますが、今回は「グローバル」をとりあげ、計10頁にわたる特別企画号としました。留学した学生の座談会や語学授業の取り組み、海外からの留学生の声など、さまざまなトピックをぜひお楽しみください。

02	▶ 古都奈良で国際感覚を養う「ならじよ」から世界へ 今岡春樹学長が語るグローバル人材と大学 / 留学対談	
06	▶ 留学関連情報	
08	▶ 世界への足がかり 世界に通じる奈良女の語学授業を探る	英語対談/中国語対談
11	▶ 学内で感じる国際色	
12	▶ 教養広場: 人生は読書の連続 / 研究における国際交流 / アジアの妊娠・出産	
15	▶ グローバル教職員グループトーク	
16	▶ 卒業生からのメッセージ	17 ▶ クラブ紹介
18	▶ 就職情報	19 ▶ Campus Topics-「なでしこ基金」へのご協力ありがとうございます
裏表紙	▶ 入試情報・学生表彰	

# 留学生の声

## 日本ってこんなところ!!

日本の授業では、学生たちが自然に一つの席を空けて座ることが理解できないところです。

最近のマイブームは、日本酒と刺身を食べることです。

日本の食べ物は、おいしいけれども、値段が高く、果物が少ないと思います。

日本に来る前と印象は変わらず、日本人はとても親切です。私は中国出身ですが、日本の気候は故郷の気候と少し似ています。日本のドラマは面白いです。

電車の駅と買い物する所が同じであることもすごいです。街にゴミ箱がないこともびっくりしました。



日本人の友達が少ないのが残念です。

奈良女へ来たら、女子学生は自分だけでいろいろな活動をする事が出来る姿が勉強になります。

なんで日本人はルールが多いのだろうと思う。

日本人が言う「すみません」の意味が理解できません。

日本で仕事をすることが夢です。

### 留学して感じたこと

近藤 留学中は、中国の芸術や古代の中国語、近代経済といった、こちらで言えば一般教養的な内容を学んでいます。留学生はカリのクラスですが、もちろん授業は全て中国語です。金池 私は現地の学生と一緒に授業を受けています。時間割などの都合もあり、授業は2回生のもので、日本で勉強したことと若干異なる部分もあるのですが、日本で学んだことをもう一度英語でやることは意義があると思っています。浅井 行く時期によって、受講できる授業に



浅井 環花(あさい かな) 生活環境学部 心身健康学科 生活健康コース3年生 出身高校:愛知県立一宮西高等学校

制限があったりしますよね。私はこれからです。現地の後期にあたる時期からスタートするので、やはりとれる授業は限られています。お二人は、実際に行ってみてどうでしたか? やっぱり勉強は大変ですか?

金池 最初の頃は、メモも取れないほど授業がわからなくて大変でした。復習にもすぐ時間がかります。時間をかけた割には点数が低くて、落ち込んだこともあり。今は復習した単語のインプットが増えて、だんだんわかることが増えてきました。自分で発言する時も、自信を持って正解を言えるようになったり。

近藤 大変でしたが、中国のことを中国語で学べたのは大きな収穫でした。中国語から日本語に二語訳して考え得るのではなく、一つの言語内で理解が進められることになったのは良かったと思います。今も勉強する時は日中:中日辞書ではなく、中辞書を使っています。浅井 二人ともすごいです!

金池 私も留学前は先輩の話を聞いて「すごい!でも自分には無理かも!」なんて思っていたのですが、いざ現地に行くと、やるしかない環境なので、なんとか耐えますよ!近藤 勉強もですが、現地の文化に直接触れて、中国の方と仲良くなれたのは留学してよかったと思う点ですね。日本人だと「親しき仲にも礼儀あり」ということわざがあるように、仲良くなってもある程度の距離があります。中国人はもっと遠慮のない付き合い方で、気楽な関係。自分には合っていると感思いました。

金池 確かに。最初はいろいろな文化の違いに驚いたこともあったのですが、それも今は普通に感じていたりします。イギリスでは現地の方といっても、肌の色や人種、ルーツは様々です。親近感のある者同士などなく肌の色のグループにまとまるんだとか、外

食が日本の2倍ほどの値段だとか、日々いろいろ発見はありますね。

### 今後の目標を教えてください

近藤 今後はアジア圏に拠点を持つ会社で働きたいと考えており、就職活動中です。留学を経験し、日本は決してグローバルスタンダードではないということが実感できました。社会人になるにあたって、日本国内で一般的とされる価値観が世界のどこでも当たり前というわけではないということ、胸に刻んでおきたいと思っています。金池 自然環境のボランティアに参加していることもあり、環境への興味が高まっています。日本語だけではなく、英語の情報に触れることで、知識の幅がぐくぐ広がりました。日本人として日本語で考えるばかりではなく、「他の国や文化から見たらどうなるのか?」という視点で世界を見られるようになったらと思っています。

浅井 私はこれから交換留学に行きます。現地では寮に入る予定ですが、英語の勉強の機会を上手に手探りで探そうと思っています。行くからには英語を磨かないと意味がないし、自分から行動を起こしていきたいです。

### 先輩の皆さんへのメッセージ

近藤 そもそも、私が短期留学に行ったことは友達から誘われたという些細なきっかけからでした。ですが、思い切っ



近藤 穂花(かないけ かな) 理学部 生物科学科 4年生 出身高校:奈良女子大学附属中等教育学校

て行ってみたくて、素晴らしい先生や、切実な中国の方々にお会いすることができました。理由は何でも構わないと思います。少しでも興味があれば、まずは一歩踏み出すことで、必ずプラスになりますよ。金池 留学は「お金がかかる」「頭のいい人だけのもの」というような敷居が高いイメージを持っている方も多いと思います。私は官民協働の留学支援制度「トビタテ」留学プログラムに選ばれて留学しているのですが、そのような資金面で支援してくれる制度もあります。日本では経験できないこともたくさんあるので、興味がある方はぜひ短期からチャレンジしてみてください。浅井 私も最初は「留学って賢い人がするんじゃない?」と思っていました。でも、思い切った短期留学に行ってみたら自分の考えがガラッと変わりました。英語しか話せない場所での「この人と仲良くなりたい!」という気持ちが芽生えたら、案外頑張れるんです。あきらめずに、まずはやってみることが大切だと思います。



**国際交流ホームページ**

留学に関する情報、留学生を交えたイベントなどの情報を提供! ぜひご覧ください。  
<http://www.nara-wu.ac.jp/iec/abroad/index.html>

**奈良女子大学の海外協定大学**

※番号については、P7下部参照

**留学の意味について**

横山 茂雄 (国際交流センター長)

19世紀後半以来、日本は絶えざる「グローバル化」の渦中におかれましたが、20世紀末からは我が国を取り巻く状況、我が国内部の状況の両方が大きく変動し、それに伴い「グローバル化」のありかたも変容しております。とは言え、たとえば留学のもつ重大な意義は、増えこそすれ減ることはないでしょう。本学の国際交流センターは、海外からの留学生の受け入れ、そして、本学学生の海外への留学の双方を担当しておりますが、ここでは後者に焦点をあててみましょう。

「グローバル化」にあたっては、日本にしようとして海外にしようとして、国際的に活躍できる人材、すなわち、世界中の人々と対等に交流、協働できる人材を育てることが大学の責務となります。これにあたっては、本学における

教育のさらなる充実を図るべきことは言うまでもありませんが、同時に、異なった文化、言語、宗教をもつ国々の大学、高等教育研究機関へ学生、大学院生を送りこむことが肝要となります。吸収力、適応力に富んだ時期にこういった環境で学ぶことは、真にグローバルな能力と視点を涵養するための重要な手段であるからです。

本学では欧米、アジア地域を問わず世界中の大学と国際交流協定を結び、そういった協定大学には、交換留学あるいは短期研修という形で本学から多くの学生が毎年派遣されています。意欲のある学生たちが異なった文化や言語のなかで実際に学ぶ機会を支援するため、これからも一層の拡充を図っていく予定です。

学により異なりますが、留学先大学での授業料は支払いの必要はありません。ただし、本学での授業料は支払いの必要があり、留学に係る航空運賃、生活費、保険料等は自己負担となります。

また必要となる語学力も留学先大学等により異なりますが、専門分野に関する学習を目的とするため、英語圏の場合 TOEFL (BT) 80~90、IELTS 程度程度の語学力が必要となります。

【上記世界地図以外の授業料等を不徴収とする学生交流協定締結大学一覧】

- ① 西安工程大学 ② 香港理工大学 ③ 梨花女子大学 ④ ソウル大学 ⑤ 蘇州大学 ⑥ 西安交通大学 ⑦ 武漢大学 ⑧ 大連理工大学 ⑨ 国立清華大学 ⑩ 東海大学 ⑪ 内蒙古大学 ⑫ ハノイ大学 ⑬ ベトナム国家大学ハノイ外国語大学 ⑭ チッタゴン大学 ⑮ クインスマーガレットユニバーシティコレッジ ⑯ キャロルマルチンコフスキー・ボズナン医科学大学 ⑰ グラーツ大学 ⑱ ロシア人民友好大学 ⑲ ハノイ教育大学 ⑳ カプール大学 ㉑ アフガニスタン教育大学 ㉒ バングラデシュ農科大学

**短期海外研修について**

毎年、夏季・春季の長期休業期間中に、海外での短期研修プログラムを実施しています。夏季休業期間中には南京大學(中国)で1ヶ月の中国語研修、ハノイ貿易大学(ベトナム)で2週間のベトナム研修、春季休業期間中には1ヶ月のリンカーン大学(ニュージーランド)で英語研修を行っています。それぞれの研修の詳細や体験談などは、国際交流センター「ならじょ」から留学 <http://www.nara-wu.ac.jp/iec/abroad/index.html> で確認できます。

**国際交流センター紹介**

国際交流センターは、留学生や海外の大学への留学を考えている学生をいろいろの面で支援する組織です。主な活動を以下に紹介します。

**1 相談窓口**

センターの教員が、月曜日から金曜日の10時から17時の時間帯に相談に応じます。留学生や海外留学を希望する奈良女子の皆さんが困っていることや判断に迷う内容にお答えします。留学相談は完全予約制です。

**2 留学支援**

**① 短期海外研修**

夏休み(8月~9月)には南京大學(中国)、ハノイ貿易大学(ベトナム)、春休み(2月~3月)にはリンカーン大学(ニュージーランド)にて海外研修を実施しています。

**② TOEFL/IELTS 説明会**

TOEFL/IELTS の説明会を実施します。この機会を利用して、奈良女子は「TOEFL」/「IELTS」の計画的な勉強について情報を収集しています。

**③ TOEFL 対策講座**

留学、大学院入試などに必要な TOEFL の能力を向上させるための集中講座を9月中旬から下旬にかけて実施します。この講座は「キャリア教育科目」として開講されており、履修すれば単位として認められます。(卒業要件外) 4月の履修登録、または、6月の学内募集の際に参加の申し込みができます。

**④ 国際グループワーク①②**

学内での国際交流異文化理解を目的に、留学生と日本人で少人数グループワークを行います。この講座は「キャリア教育科目」

として開講されていて、履修すれば、単位として認められます(卒業要件外)。

**⑤ 英語による日本事情科目**

留学生が、英語で日本の文化・社会・文学について学ぶ授業として、「Modern Japanese Literature A/B」を含む8科目を開講しています。これらの講座は「教養教育科目」として開講されていて、履修すれば単位として認められます(卒業要件内)。

**3 日本語サポーター**

国際交流の二環として、本学の日本人学生が本学の外国人留学生の日本語学習のサポートを行っています(週1回、原則的に曜日・時間固定)。

外国語で日本語を教える必要はなく、日本の友人として、日本語学習を通じて留学生と交流を深める活動です。日本語サポーターの募集は、前期・後期のはじめに行います。

**4 日本文化を学ぶ場を提供**

日本文化を学ぶ留学生が日本文化に親しむ機会を持てるよう、華道や茶道の体験、国立文楽劇場での文楽鑑賞などを行っています。その他、フィールドトリップを実施しています。

**5 国際交流センター News Letter の発行**

年4回発行し、奈良女子大学の国際交流の状況を紹介しています。

**交換留学について**

協定大学のうち、授業料等を不徴収とする学生交流協定を締結している大学には、交換留学制度を利用し、半年もしくは1年間、本学に在学したまま留学することが可能です。留学に必要な費用については、留学先国大



特集

Special Feature 2

ならじよ  
×  
グローバル

# 世界への足がかり 世界に通じる奈良女の語学授業を探る

## 英語対談

平成27年度より習熟度別・少人数制のクラス編成がスタートし、奈良女の英語教育は大きな変化を遂げようとしています。今回は、新・旧カリキュラムを経験した学生と、クラス編成に関わった教員で奈良女の英語について大いに語ってもらいました。



齊藤 美和(さいとう みわ)  
文学部 言語文化学科  
准教授  
[専門分野] イギリス文学

### 新・旧カリキュラムの違いは？

今野先生 平成26年度までは、読解や文法が中心の「基礎系」、コミュニケーションを重視する「実践系」という2つの科目があり、それぞれ学部別に40〜50人のクラス編成でした。津田さんは旧カリキュラムを受講していましたよね？

### 奈良女で英語を学んでよかったこと

津田 奈良にはたくさん外国人観光客がいらつやいます。奈良女に入学し、奈良で生活するようになってからは、英語で話しかけられることが多くなりました。

中西 奈良にしていると、アルバイトをしても英語を使うチャンスは多いですね。奈良女で学んだことにより、英語を話すことへのためらいはなくなりつつあると感じています。津田 授業も楽しいです。今はネイティブの先生から教わる授業を受けているのですが、進め方がユニーク。天気の良い日は外へ出て、学内のベンチでお茶しながら授業を



今野 弘章(いのの ひろあき)  
文学部 言語文化学科  
准教授  
[専門分野] 英語学・言語学

## 中国語対談

日本を訪れる中国人が増加し、中国語への需要も高まっています。奈良女で中国語を履修している3人の学生と、中国語教員に集まっていたいただき、授業のことや中国語の面白さについて伺いました。

### 中国語を履修したきっかけは？

廣瀬 奈良や日本の古典文学が好きなのですが、いずれも中国と深い繋がりがあるので



て、その日に感じたことを詩にすることが宿題になったり。

中西 奈良女の先生は、学問や研究が楽しくて仕方がないことが伝わってくる方が多いです。例えば、1つの単語がどんな意味を持つのかをすごく深く話してくださることがあって、時には授業から逸れてしまうほど深くなるんですが、それも楽しくて(笑)津田 それ、めっちゃわかる(笑)！広く深く、知識を身に付けられるのが楽しいです。

### 英語を活かしてやってみたいことは？

中西 先日、初めて海外に行く機会があり、現地に行かないとわからないことがあるのではないかと思います。語学は中国語を選択することになりました。

多々良 私は中学生の頃に中国人の留学生が学校に来てくれて、部活動を一緒にしていたのがきっかけです。その時は英語で話していたのですが、「相手の母国語で話せたら」と。

山道 小学生の時に中国から転校生がきて、初めて中国語というのを知りました。さらに高校生の時に先生から中国の映画を勧められ、言葉の響きが綺麗だと感じました。大学では迷わず中国語を選択しました。

だと実感しました。以前から興味があった留学に対する思いが強くなっています。

津田 私も留学は経験しておきたかったのですが、部活の関係でまだ実現していません。今はTOPICを受験して自分の実力を知っておこうと思いい、勉強中です。齊藤先生 留学については、卒業や就職の時期などにより、いつ行くか、どのような形で行くかは学生によって異なります。教員に相談があることもあります。頼りになるのは留学経験のある先輩というケースが多いので、私たちは学生同士の橋渡し役を務めることが多いです。奈良女の学生は自分でしっかり考えて行動する方がほとんどですので頼もしいですね。

### 奈良女の中国語教育の特色とは？

大平先生 特に文学部は時間数が多いですね。1回生のうちに1日2コマずつ、週4コマの授業があります。2コマ180分間、中国語演習とも言える環境になるんです。1冊の教科書を通常であれば1年かけてやるのですが、奈良女は半年でこなします。後期になると4人の先生が全く異なる内容の授業を行います。学生は大変でしょうが、上達しているのがわかって教員も学生も共に喜ぶ瞬間がたくさんあるんです。



中西 暁穂(なかにし さき)  
文学部 言語文化学科  
ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース2年生  
出身校: 近畿大学附属和歌山高等学校(和歌山県)

んあまり接することのない英語の書物などを読みました。

今野先生 平成27年度からスタートした新しいカリキュラムでは、読む力・聞く力を養う「受信型」、書く力・話す力を磨く「発信型」という2タイプの科目になりました。このうち、「発信型」を20名以下の少人数にし、学生1人1人の書く・話す機会を増やすようにしました。また、学部を横断した習熟度別のクラス編成にし、学生のレベルに合った授業を行えるようにしています。

中西 私は新カリキュラムを経験しているのですが、少人数制の「発信型」では1人でPower Pointのレジュメを作って皆の前で発表したり、スピーチをする機会がすごく多いです。

齊藤先生 少人数制になったことで、英文の添削やスピーチの講評など、教員から学生へのフィードバックが行いやすくなりました。学生各々の感じ方や、得意な点、苦手な点が細かく把握できるようになりましたね。

### 先輩へのメッセージ

津田 受験生だったころは、なぜこんなに英語の勉強をしなければいけないのかと思うこともあったのですが、大学に入学してその必要性を実感しました。大学に入ってからどんな学問をするかに関わらず、高校時代しっかりと基礎力を身に付けることが大切だと思います。中西 世界中から観光客が訪れる奈良は、他の都道府県と比べて英語を使う機会が多いと感じています。新カリキュラムになって学内でも実践の機会が多くなっているため、使える英語を身に付けたい人には素晴らしい環境が整っていますよ。



津田 優子(つだ ゆうこ)  
文学部 言語文化学科  
ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース3年生  
出身校: 富田高等学校(岐阜県)

### 実際授業を受けてみた感想を教えてください。

廣瀬 英語と違い全く知らない言語なので、慣れるまでは大変でした。特に後期は予習を4回、テストも4種類というボリュームをこなすのに苦労しましたね。山道 発音の壁が思ったよりも厚かった



大平 幸代(おおひら さちよ)  
文学部 言語文化学科  
准教授  
[専門分野] 中国古典文学

### 奈良女の外国人教師からのレター



私はドイツのバイエルン生まれです。ミュンヘン大学で日本学、ドイツ学、哲学を学びました。ミュンヘン、トリアー、ハイデルベルク大学で教えた後、六年前に奈良に来ました。

専門は近代日本文学です。とりわけ日本文学における外国文学の受容や、他のメディアや言説からの影響に興味を持っています。

これまでの主な研究テーマは、大正時代の作家によるヨーロッパのアヴァンギャルド運動（未来派、ダダイズム、表現主義など）の受容、明治文学における自然風景に対する感じ方の変化などです。また、文学における自殺のテーマについて研究したことがきっかけで、島田雅彦の小説『自由死刑』のドイツ語訳を出版することになりました。

名 前：トーマス・ハックナー Thomas Hackner  
出身国：ドイツ



« Global » is a very significant word to me. I grew up in Africa, but everything changed when I came back to France: the French thought that Africa was poor and had nothing to offer in terms of ideas and values there. Fortunately, this was balanced in 1980s by the growing influence of Japan. I was immediately attracted by its culture and one fact: Japan was the only non-European country that brought different values to the West. I decided to keep precious my African past, cultivate the aspects of French culture and try to reach Japan one day... where I teach French language and literature today.

At the beginning, « Global » was just a word. It's a reality now. Last year, Mr. Omura won the Nobel prize for medicine. His work brings hope to Africa and new jobs for Japanese youth. I can assure that mastering the French language would help promote the Japanese pharmaceutical industry in Africa where governments work with French officials. Such an experience would contribute to define your personality and live a better life.

名 前：Isabelle Tonomura  
出身国：France



One of my two hobbies, which gets me out walking in cities, is going to used bookstores. In my four years at Nara Joshidai, I've bought some 300 used books in Nara, Kyoto, Osaka, and Tokyo.

Some of these books form part of my research, which has recently concentrated on Robert Frost and Ralph Waldo Emerson. I'd like to complete a short book on Frost by 2019 and a short book on Emerson by 2020. The Frost book will explain what Frost meant by a sentence he wrote in a notebook: "A poem is the act of having an idea and how it feels to have an idea." The Emerson book, too, will tell a story about a single sentence: "Our moods do not believe in each other."

Writers are often asked by their readers, "Where do your ideas come from?" It's a very good question. My second hobby is to research and write about the answers that have been given to it.

名 前：Mark Scott  
出身国：United States of America



山道 優季(やまのみち ゆづり)  
文学部 言語文化学科  
日本アジア言語文化学  
コース3回生  
出身校：  
富山県立富山高等学校

です。何週間も練習してさらに間違えたりするので、心が折れそうになったことも多々。自分で「こう発音したい」と思っても多かったです。ピンイン（中国語の読み方）を覚えるのも大変でした。

廣瀬 1年間勉強して、読み書きや話すことは成長したと感じます。奈良は観光地です。中国語の看板をよく見かけるので、少しずつ読めるようになってきました。

山道 奈良でアルバイトをしていると、中国語で話しかけられる機会が多いです。「クレジットカードは使えますか」「免税ですか」といったような。教科書には載っていないフレーズですが、自分で調べて理解できた時は中国語をやったよかったです。中国語を勉強してよかったと思います。

多々良 中国という国そのものについて教えていただくこともあり、すごく楽しいです。中国人の先生は中国の実家に帰った時の様子や、最近の中国の変化について話してくださったりします。

大平先生 国が違えば文化が違うので、日本語から中国語へ置き換えるだけでは不十分。中国で行われる受け答えや、覚えた言葉



廣瀬 夏季(ひろせ なつき)  
文学部  
人文社会学科2回生  
出身校：  
愛知県立時習館高等学校

## 学内でも活発に交流しています!

### マカンナンチ\*食堂開催



昨年度キャリアデザイン科目国際グループワークIIの締めくくりとして、International Food Party「マカンナンチ食堂」を2月9日に開催しました。この会は、講義を履修したメンバーが主となり、日本人学生、留学生計20名以上が協力し、日本（お雑煮、栗きんとん）、インドネシア（ナシゴレン・テンペ）、ベトナム（春巻き）の料理を調理しました。料理を通じ互いの国の食文化などについて交流を深めることが出来ました。

\*インドネシア語、ベトナム語、中国語の「食べる」という意味。

### 学生企画 国際交流パーベキュー大会



#### 企画した学生より

文学部人文社会学科4回生 近藤香月  
4月22日に学生企画・新入留学生と在学留学生、日本人学生との交流を目的としたパーベキュー大会を実施しました。日本人学生の異文化への関心の高さがうかがえ、参加した学生からは「楽しかった」「次回も開催してほしい」という声が聞けました。これらの反響は企画者の私にとっても嬉しく、今後も学生が主体となりこの様な会を開催できたらと思います。

### 留学生のための 茶道教室



5月22日に国際交流センター主催の「留学生のための茶道教室」を開催しました。センターでは、留学生に日本の文化を学ぶ場を定期的に提供しています。本学の研究員・樽井由紀先生を講師として、5名の留学生が参加しました。お点前までの一連の所作と茶道のおもてなしの心を学びました。留学生からの質問を受けて、講師から花札を使う「花月」に関する会の説明が行われ興味深い会となりました。



が実際にどんな場面で使われるかといったことを、なるべく授業の中で伝えていきたいと、どの教員も考えています。

### 中国語を活かして やってみよう

廣瀬 将来は、奈良の魅力伝えられるような仕事をしたいと考えています。奈良は中国からの観光客がすごく増えているので、中国の文化を理解しながら、もっと多くの人に奈良を知ってもらえるような活動がしたいです。

多々良 幼い頃から、世界の人々と話したいという夢がありました。中国語を学び、中国を理解することで、それまで自分が知らなかった世界が広がっていきはじめています。留学にも興味があるので、これまで以上にしっかり勉強したいですね。

山道 去年の夏に中国への短期留学を経験し、今は交換留学に行く準備をしています。短期留学では、皆さんが世話を焼いてくれたのが印象的でした。テレビのニュースだけではわからない、実際に現地を感じたことを、いろんな人に伝えられたらと考えています。

大平先生 奈良女の中国語はハードですが、しっかり基礎を身に付けられるカリキュラム。これを取り越えれば、自分からどんどん中国語を吸収できます。中国・台湾の映画やドラマを原語で見ると楽しいですよ。時代劇やラフコメもおすすめ。ぜひ、中国語の楽しさに触れてみてください。



多々良 理奈(たたら りな)  
生活環境学部  
住環境学科3回生  
出身校：  
兵庫県立姫路高等学校

人生は解読の連続  
中央アジアにロマンを求める  
解読のスベシヤリスト

文学部 人文社会学科  
歴史学コース  
准教授

矢島 洋一  
やじま よういち

【研究テーマ】  
内陸アジア史、東西交渉史、イスラーム史、イラン  
文献学など  
【担当授業科目】  
東洋史概論、東洋史講義、東洋史特殊研究など



「さうそくですが、先生は普段どのようなことを専門に研究なさっているのですか  
実は専門分野を訊かれると、いつも困ってしまうんです(笑)。常に複数の研究を並行



ウズベキスタンの都市ヒヴァの街並み

して進めていて、この二つが自分の専門だとい  
うものがないので、今回はその中から、主な二  
つをご紹介します。

「一つは『モンゴル帝国史』で、モンゴル帝国時  
代に作られたヘルシア語、アラビア語などの  
資料を解読し研究しています。モンゴル帝国  
は13〜14世紀、ユーラシア大陸の広範な地域  
を支配していました。例えば私が解読作業に  
携わったものに、モンゴルのハルホリン(カラ  
コルム)にある、ペルシア語で書かれたイスラ  
ム教修道院の建設記念碑があります。その建  
設に関わった人物に関して、中国では記録に  
残っていないのが、モロッコで書かれた文献に  
は名前が残っていました。人の移動が激しく、  
様々な言語が用いられた『多言語(マルチリン  
ガル)の時代』であったことは、まさに『グロー  
バル』の先駆けとも言えますね。

研究における国際交流  
カッコウの托卵が結んだ縁

理学部 化学生命環境学科  
環境科学コース  
教授

高須 夫悟  
たかす ふうご

【研究テーマ】  
数理的手法を用いた生物集団の構造と進化に關  
する研究  
特に、鳥類寄居共生の共進化動態、絶滅危機種の  
絶滅リスク評価、空間進化ゲーム動態、感染症の  
空間伝播

先生のご研究分野を教えてください

数理的手法を用いて生物生命現象を研究す  
る数理生物学が専門です。特に、個体群動態生  
物個体数の時間変化に力点を置いた研究を進  
めています。個体群動態といふとなかなか実感が  
湧かないかもしれませんが、絶滅危機種の保全や  
感染症対策、人口問題といった実用的な問題にも  
関わる分野です。私は生物を直に扱う訓練を積  
んでいないため、生物実験をすることはないので  
すが、数理モデルという思考実験に基づいて生物  
学者と共同で研究をしています。

先生は「カッコウの托卵」について  
研究をなさっているそうですね  
大学院修士課程の頃から鳥類、特にカッコウの  
育児寄生(托卵)について研究しています。他の個  
体(宿主)が作った巣に卵を産み付けて子どもを  
世話をする、というカッコウの托卵の話はよく  
知られていますが、托卵に対抗してカッコウ卵を



私は休暇で海外に行ったことはほとんどあり  
ません(本当は行きたいのですが)。もっぱら国  
外への研究者と共同研究なさっているの  
です

大学院修士課程の夏、当時所属していた研究  
室に数ヶ月アメリカの研究者が滞在していまし  
た。せつかなので日本の自然を紹介しようと思  
い、彼を信州に連れて行きました。その時、信州  
の山々を案内してくださったのが当時カッコウ  
を研究されていた信州大学の鳥学者の先生でし  
た。その後、その先生とアメリカの方と一緒に托卵  
をテーマに何か研究できるのではないかと思い、  
カッコウの托卵の数理的研究を始めました。

20世紀初頭の法廷文書や法廷記録を研究  
しています。当時中央アジアはロシアに征服  
されていました。社会はイスラーム法による  
運営が許されてきました。そのため法廷文書  
には、ペルシア語、トルコ語、アラビア語で書か  
れたイスラーム法関係の用語、さらに時々ロシ  
ア人が判決に介入したためにロシア語も混ざ  
ります。文書を読むことで、複数の価値観が  
せめぎあっていたことがわかるのです。このよ  
うな文書や記録を毎年ウズベキスタンで現地  
の研究者と協力しながら、調査しています。

研究に関するお話の中でたくさん言語  
が出てきましたが、どの言語も習得しておら  
れるのですか  
そうですね。多言語の時代の文献を解読  
するには、読めない話になりませんから。  
とはいえ完全にマスターしたとは言えませ  
ん。いまだに勉強中というところです。

研究を始められたのは、どのようなき  
っかけからですか  
学部生の頃から「読めないものを読めるよ  
うになりたい」という衝動、言語に対する興味  
があったんです。それで、色々な言語を学べ  
ると思ってこの分野を選びました。今の研究は  
ちよつとした興味やきうかけが広がって、気づけ  
ばメインの研究になっている感じですね。

先生はご自分の研究をどのように捉え  
ていらっしゃいますか  
歴史学は人類の知識をとにかく増やしてい  
く、というものです。すべての「基礎」になる分  
野ですから、まだ誰も知らないことを解明し  
て、人類の知識を増やすことに意味がある  
と考えて研究しています。

研究地域の現在の情勢についてはどの  
ように感じいらっしゃいますか  
私は現代の問題を直接扱っているわけでは  
ありませんが、現地調査に行ったときに変化を  
肌で感じます。テロ対策として、地下鉄で荷物

認識して排除する能力を進化の過程で獲得した  
宿主が存在します。これに対し、カッコウは卵擬  
態を進化させるなど、宿主とカッコウの進化的攻  
防は尽きません。このような寄生系の進化動態  
と空間分布を含んだ個体群動態に関する数理的  
研究を進めています。

托卵を研究なさるようになった経緯を  
教えてください  
大学院修士課程の夏、当時所属していた研究  
室に数ヶ月アメリカの研究者が滞在していまし  
た。せつかなので日本の自然を紹介しようと思  
い、彼を信州に連れて行きました。その時、信州  
の山々を案内してくださったのが当時カッコウ  
を研究されていた信州大学の鳥学者の先生でし  
た。その後、その先生とアメリカの方と一緒に托卵  
をテーマに何か研究できるのではないかと思い、  
カッコウの托卵の数理的研究を始めました。

海外の研究者と共同研究なさっている  
とお聞きしましたが、海外にはよく行かれるの  
ですか  
私は休暇で海外に行ったことはほとんどあり  
ません(本当は行きたいのですが)。もっぱら国  
外への研究者と共同研究なさっているの  
です

世界を均質化するのではなく、「英語とい  
う共通の言語を使って個々の地域の事情を尊重し  
つ互いに発展すること」が、「グローバル」である  
と私は考えます。共通言語である英語を懸け橋  
に、色々な国の人々が自由に意見を交わして新しい  
アイデアなどを生み出していく。これが世界全体  
の発展につながるのではないのでしょうか。

「グローバル」の観点から、奈良女の学生  
や読者の方にアドバイスやメッセージなどあ  
れば教えてください  
言語は意思疎通のための道具にすぎないと  
考えています。「この言語を使って何をしたいの  
か?」という目的意識をもつことが最も大事だ  
と思います。また、私の経験上、文法や発音が完璧  
でなくとも、あなたとお話ししたいという姿勢を  
示せば、言葉は十分通じます。外国語を恐れず、  
相手と意思疎通する努力を怠らないことが大切  
です。外国語を話すこと自体に抵抗がある人は、  
日常的に外国語を使う環境に身を置くことで語  
学力が上達するでしょう。自転車の乗り方と同  
様に慣れの問題なので、短期留学までいかに

検査をされたり、バザールで写真撮影をとがめ  
られたりしました。研究地域が息苦しくなっ  
てきているのは悲しいことです。

今のテロ対策は「対症療法」、つまり今たち  
まち脅かす存在にどう対応するかばかりが問  
題となっています。それも大切ですが、もっと  
根本を解決するのが大事ではないでしょうか。  
そのためにはやはり地域のことをよく知ら  
なければならぬと思います。

最後に「グローバル」の観点で、奈良女生へ  
一言お願いします  
「グローバル時代」に言語という英語は  
かりが持ち上げられますが、もつと言葉の数  
をこなしてもらいたいですね。模様に見える  
アラビア文字も、少し読めるだけでいい  
違いますよ。世の中の見え方も変わってきま  
す。ぜひ「いろいろな言語をかじる」というこ  
とに挑戦してみてください。

学生記者の 声

インタビューがこんなに贅沢な時間だと  
初めて知りました(先生に一对一でお話  
しいただけるとは...)。「どこを削れば  
いいんだ!？」と原稿作りで頭を抱えた  
ほど、盛りだくさんにお話しください  
「面白さ」が、皆さんに伝わっています  
ように!

木村 円香(きむら まどか)  
文学部言語文化学科日本アジア言語文化コース4回生  
出身校:兵庫県立神戸高等学校

学生記者の 声

今回の取材では、托卵の話から海外研究  
の話まで、実にたくさんのお話を伺  
いすることができました。「外国語を恐  
れず、相手と意思疎通する努力を怠ら  
ないことが大切」。取材のなかで先生  
が何度もおっしゃっていたこの言葉を、  
日々反復しながら、今後の学生生活  
を送っていきたいと思います。

辻 詩乃(つじ のり)  
文学部人文社会学科 2回生  
出身校:帝塚山高等学校(奈良県)

# グローバル教職員グループトーク

奈良女子大学が文学部の水垣源太郎先生、寺岡伸悟先生、浅田晴久先生、内田忠賢先生、高岡尚子先生、理学部の林田佐智子先生、生活環境部の鴨浩靖先生をグループトークに招待しました。

グループトークにご参加の皆さん、全国の読者の方へ紹介します!



水垣先生



寺岡先生

JST (RISTEX) による助成事業「高齢者の営農を支えるらくらく農法の開発」で開発された電動一輪車を持って2つのトルコの農村(ギョクビユク村)を訪問し、ザクロ園で試運転を依頼すると村では評判となり、なんとサプライズが! ギョクビユク村の方が本学との末永い交流を願って、ザクロの樹をプレゼントしてくださいました!! 「奈良女子大の皆さん、どうぞ収穫にきてください。この樹の世話は、わたしたち村の者が責任をもって行います。」という村人の言葉に、感動。



浅田先生

まさかザクロの樹がプレゼントされるとは!! 遠く離れたトルコの皆さんと強い絆で結ばれた瞬間ですね。

インドで暮らしていた2011年当時、「現地に住みこんで調査を行う珍しい外国人」ということで、インド地方局の夜7時台のニュース番組「NEWS LIVE」内で、私の特集が放送されました。また、2014年3月には、インドの地方新聞「アマル・オホム」で、私のことが記事に、「Japani Juvoke Biyar Nimantrani-Patra Pathale Bisudha Asamiyat (訳:日本の若者が美しいアッサム語で結婚式の招待状を送る)」という見出しで、現地での活動も紹介されました。



内田先生

6年ほど前から、飛行機で片道2日間掛けて、ブラジルにおける日系文化YOSAKOI-SORAN (和風の集団ダンス)の普及について、現地でフィールドワークしています。滞在中は新聞、テレビの取材を受けることが多いのですが、数年前の日系新聞の記者さんは奈良女卒でした(サンパウロ在住、文学部・心理卒)。

浅田先生はインドでは有名人ですね! インドの人に歓迎される様子が浮かんできます。サンパウロに奈良女の卒業生が!! ワールドワイドに展開していますね。



鴨先生

大学生がプログラミングの腕を競う国際大会ACM/ICPCのアジア予選の審判(出題者を兼ねる)を長年務めたことを評価され、the ICPC Founders Award (ICPC創設者賞)を受賞しました。



先生はそんな審判も務めていらっしゃったんですね。



林田先生

パリでOECD (経済協力開発機構) 主宰のGreen Growth and Sustainable Development (GGSD) forumが開催されスピーカーとして招待されて講演を行い、セッションでは、日本の貢献として温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)と地球環境情報統合のためのシステム(DIAS)を紹介しました。



高岡先生

フランスの女性作家ジョルジュ・サンドは、世界各地に研究者がいることで知られます。2015年の国際学会には、10か国以上から100名近い参加者が集まりました。もちろん、日本の研究者も健在。文学は、世界をつなぎます。

誰もが知っているOECD主催のフォーラムに招待されるなんて、すごすぎますね。「文学は、世界をつなぎます」名言ですね。

ありがとうございました。

# 特集 | ならじょ×グローバル | 教養広場

生活環境学部  
生活文化学科  
教授

松岡悦子

まつおか えつこ

【研究テーマ】  
アジアの近代化と妊娠・出産の医療化-女性の健康と人権に配慮して

アジアの妊娠・出産  
と外国との比較の中で



具体的には何を研究なさっているのか教えてください。  
主にアジアの国での妊娠・出産の研究をしています。今、アジアは急速に近代化していて、それに合わせて出産の形も自宅出産から病院出産に変わっています。しかし、実際に途上国に赴き現地の人に話を伺うと、病院では多くの女性が帝王切開されています。果たして病院出産は女性にとって良い出産なのか、そして、東南アジアの近代化と出産の医療化や、どうして負担が大きい病院出産が進むのかについて研究しています。先生はなぜアジアに注目なさっているのですか。  
たまたま調査した地域がアジアだったというのがありますが、一方でイギリスとも比較研究しており、アジアとヨーロッパを両方見たいと思っています。

生物学的には女性の身体は変わらないはずなのに、どうして国によって出産のあり方が大きく変わってくるのか、ヨーロッパの国々で比較共同研究をしています。しかしアジアの中ではほとんどそのような比較研究はなされていなかったので、アジアの中の多様性と共通性を比較したいと思っています。特に日本は自分たちがアジアの一部だという意識が希薄ですが、もう20年くらい前に私がシンガポールで乗ったタクシートの運転手と話す中で、アジア各国が日本抜きに自分たちで関係を作りつつあるにもかかわらず、日本はそこに関わっていない、日本はアジアの中心ではないことに気づきました。  
外国で研究することの意義について教えてください。  
文化人類学自体が様々な国や地域の文化を比較する学問です。生まれたときから日本で生活していると周りのことが当たり前に、それが決められたもの、そうあるべきものだと思っていますが、実際には人類はこれまで



調査に行った Bangladesh の村で学校に通う生徒達

多様な社会を作ってきました。外国を知ること、人類の可能性の幅を知ることができず、外国を研究して面白くするのは自分の常識が崩れることです。  
先生のご研究の展望をお聞かせください。  
これまでに出来なかつたことをしてみたいです。具体的には日本の助産師の歴史を書くこと。昔、産婆は周りにから尊敬される存在で昭和の前半から戦争が激しくなるころまでは産婆自身が産婆の地位向上のために奔走していましたが、それはあまり研究されていません。研究していく中で戦前の助産師の活動を残したいです。また、日本はアジアの一員なので、アジアの女性の健康状態や人権に目を向けたいです。そして、アジアを通して日本の問題に気づいたり、日本も含めてアジアの人たちが共通の課題について対等に話し合えるような機会を研究の場で持てたいです。  
最後に奈良女生への期待、読者へのメッセージをお願いします。  
若いころに海外に行くことはとても重要です。海外に行くと、誰も知らないところから人間関係を作り、母国での習慣を見直し、これまでは違う言葉を話さなくては

## 声 | 学生記者の



取材自体が初めてで取材当日も緊張してしまいましたが、興味深い話をたくさん伺うことができました。紙面の都合上削った部分も多少心残りではありますが、この取材を通して改めて学問に対する姿勢について考えることができたように思えます。  
坂本梓 (さかもと あずさ)  
文学部人文社会学科2回生  
出身校:兵庫県立伊丹北高等学校

なりません。その中で人はものすごく成長します。私の子どもも1年間ドイツに行きました。ドイツでの1年間は濃密で日本でも3年分の値打ちはある」と話していました。これだけ社会がグローバル化していると、自国のことだけを考えるのは困難になるでしょう。世界の平和をいかに築くか、世界の人の人権を守るために何が出来るのかを考えるためには、日本を外から見る経験が必要になってきます。  
そして、間接的ではなく、直接体験することが大切です。奈良女にも留学生がいますから、もっと留学生との交流を積極的にしていくとお互いに得るものも大きいと思います。特別なことをするのはなく、日常の中にグローバルは隠れています。まさに日常がグローバル。そこで内向きにならず、もっと外と接触することが重要だと思います。



# 卒業生からのメッセージ

## 世界の舞台で活躍する医療データ解析スペシャリスト



**新谷 歩**  
しんたに あゆみ  
理学部数学科  
現 大阪大学大学院医学系研究科  
臨床統計学専攻 専任講師  
出身校：兵庫県立野野高等学校

皆さんは医療統計家という職業をご存知でしょうか。医療統計家は医療に関連する数々の分野でデータを用いた分析を行っています。具体的には、薬効を示すデータの解析や、どのような指導を行えば子供の肥満を防ぐことができるか、集中治療室では鎮静剤の使い過ぎで脳機能障害を引き起こしているのではないかと、アルツハイマー病などの認知症にかからないためにはどのような生活習慣が必要か等の解明です。保険や医学、看護、歯学、薬学等医療に関係する諸問題解決のため、最新の統計学のツールを使って研究しています。

私は1991年に奈良女子大学理学部数学科を卒業、1994年からアメリカに渡りエール大学で修士号、博士号を取得後、テネシー州のヴァンダービルト大学で世界中から来た医師や統計家と仕事をしました。医師サイエンティストの卵である専門医フェローシップの若手のドクターに統計学を10年間教え、ティーチングアワードもいただきました。現在は大阪大学医学部で医療統計を教えながら、日本中の医師達と研究を行っています。

アメリカでの教育活動が日本でも認められて、自身の出版物がインターネット購入サイトの医療統計の部門で1、2位をいた



米国ヴァンダービルト大学臨床研究修士コースで医療統計を学んだ医師たち

だいております。また、昨年中に各地で行った講演数は40に上ります。これほどのニーズがあるのは、日本の医学界で統計の専門家が極端に不足しているからなのです。医学の世界のみならず、統計学はありとあらゆる分野で必要とされ、21世紀で最も魅力的な職業だと言われています。私には小学6年と中学3年の娘がいますが、統計家はパソコンとインターネットがあればどこでも仕事ができるので、母親業と大学教授としての仕事を両立できるのも、この職業を選んだおかげです。

大阪大学では奈良女出身の統計家が私の他に2名います。これから数学や理学の道に進まれる学生の皆さん、日本でまた世界の舞台で活躍するためにぜひ統計学を学んでみてください。

このような貴重な機会を得ることができたのは、やはり私が奈良女子大学で学生生活を送ったからです。学生時代は日本アジア言語文化コースに所属し、中国文学を専攻しました。授業は少人数

## 中国に暮らす一留学生として、教師として



**峰松 規子**  
みねまつ のりこ  
大学院人間文化研究科博士前期課程  
日本アジア言語文化コース  
現 中国 首都師範大学 外国語学院 日本学  
院 専任講師  
出身校：長崎県立長崎北陽高等学校

私は現在、長崎県教育委員会の日本語教師中国派遣事業の一環で、中国北京市にある首都師範大学に派遣され、日本語学科の学生に日本語を教えています。日本の高校では「外国語としての日本語」を教えています。同じ日本語といっても、「国語文法」と「日本語文法」はだいぶ趣が異なっています。また日本語の音声や語彙など、これまであまり考えなかったような問題に直面したり、日本文化についての質問に悩んだり、日本と日本語についてもっと勉強しておけばよかったなと思うことがしばしばあります。授業を中心とした生活ですが、それ以外にも、日本語学科の学生と日本人留学生との交流会を企画したり、学生と一緒に旅行に行ったりすることもあります。大変なことも多いですが、熱心に学ぶ学生や中国人の同僚に助けられ、大好きな中国で、充実した生活を送っています。

このように貴重な機会を得ることができたのは、やはり私が奈良女子大学で学生生活を送ったからです。学生時代は日本アジア言語文化コースに所属し、中国文学を専攻しました。授業は少人数



現地の学生と一緒に天津市に旅行

## WSSS English Speaking Society

## 国際協力サークル HUA

### 多様な活動を通じて

奈良女子大学 ESSS (English Speaking Society) では、英語でのイベント、ディスカッション、スピーチ、ドラマなどの活動に取り組んでいます。大抵の人は私たちの活動について難しそう、というイメージを持っているようです。しかし、もともと英語が得意なメンバーが集まるわけではありません。実際、私自身も英語は大の苦手でした。しかし3回生になった今では、日常会話程度であれば問題なく話せるようになりました。他には、長期の交換留学に挑戦した部員もあり、グローバル化が進む現代



ESSS 夏合宿時集合写真

で英語を上達させることは、十分可能だと思います。ただ、単に英語に関する能力を向上させるためだけでは、何も部活動として活動しなくても一人で勉強すればいい、と思う人もいるのではないのでしょうか。確かにそのほうが効率的なのかもしれません。しかし、ESSSの活動では、英語の勉強だけではなく、多くの人との交流、論理的な思考、プレゼンテーションなど様々なことを経験できるのです。



**吉岡 美鈴**  
よしおか みずほ  
文学部人間科学科  
教育学人間学コース3回生  
出身高校：長崎県立長崎西高等学校

例えば、私は去年東京で行われたスピーチの全国大会に出る機会をいただきました。大会出場のためには予選通過の必要があったのですが、その際に提出した原稿は、奈良女 ESSS の部員からはもちろん、関西圏の他大学の方々にもアドバイスをいただきました。そこではどのように論理立てて聴衆を説得させるかという点を工夫しました。また、大会当日、日本全国から集まったスピーカーの方々の聴衆の前でスピーチを行いました。さらに、出場者との交流会もあり、新たな友達を作ることができました。

このように、一人で勉強するだけでは得られない経験をたくさん得ることができたと私は思っています。今後も部員一同助け合い、活動に打ち込んでいきたいと思っています。

### 世界とつながるきっかけをつくる

「国際協力サークル (HUA)」と聞いて、具体的にどんな活動をしているのか分からない方が多いかもしれません。私たち HUA (ほあ、中国語の「花」由来の名前です) は、ちょっとした意識や行動で大学内からでも世界とつながることができると考えています。主な活動としては、フェアトレードと TABLE FORTWO (以下、TFT) があります。

フェアトレードとは、開発途上国の製品を適正な価格で継続的に購入することにより、生産者の生活改善と自立を目指す貿易の仕組みのことを言います。日本における知名度はまだまだ低いですが、もともと多くの人に知ってもらおうと、HUA は毎年奈良女の学園祭である恋都祭でフェアトレードコーヒーを販売しています。また、3年前から始めた「こと(恋都・古都)チョコ」は、学内で募集したデザインを包装に用いたフェアトレードチョコを、学祭や購買などで販売しました。



恋都祭で販売した「ことチョコ」

TFT とは「二人の食卓」、



平成27年度12月のTFTフェアで出された「きのこあんかけ丼」

先進国の私たちが開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトのもと生まれた取り組みです。HUA は生協と連携し、年に2回食堂で TFT フェアを行っています。具体的には、HUA が考案した栄養バランスのとれたメニューを食堂で販売し、価格のうち約20円を開発途上国の子どもたちの給食費として寄付するというものです。



**北野 菜緒子**  
きたの なおこ  
文学部人文社会科学科  
文化メディア学コース3回生  
出身校：兵庫県立神戸高等学校

私たちがいる前は、フェアトレードは聞いたことがある程度で、TFT に関してはその存在さえも知らなかったのですが、活動を通して、今まで知らなかった世界の問題、それを解決していくための取り組みを知りました。同時に得たものは、同じ活動に取り組む人たちとの出会い、自分にはなかったモノの見方です。みなさんの日常の中に、世界につながる「こと」といって、HUA がそのきっかけになることができます。嬉しです。



# 平成29年度入試情報

大学院博士前期課程・後期課程の入試についてはホームページをご覧ください。▶ [http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi2\\_b.html](http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi2_b.html)

学部	学科等	入学定員	日程区分・募集人員					学べる内容
			一般入試		AO入試	推薦入試	私費外国人留学生入試	
			前期日程	後期日程				
文学部	人文社会学科	60					時間(歴史)・空間(地理)・関係(社会)をテーマに学びます。古代文化学、歴史学、社会情報学、地域環境学、文化メディア学の5コース制。 世界の主要言語・文学・文化現象を学び、国際社会で活躍する人材を育成します。日本アジア言語文化学とヨーロッパ・アメリカ言語文化学の2コース制。 社会と文化における人間と人間相互の生の営みに焦点を合わせ、人間の存在と形成について総合的に学びます。教育学・人間学と心理学の2コース制。	
	言語文化学科	50	99	45	6	—		
	人間科学科	40						
	小計	150	99	45	6	—		
理学部	数物科学科	63	35	20	—	8	自然現象に対して数理的手法を駆使し、広い視野を持ち、変化し続ける社会に対応できる人材を育成します。数学、物理学、数物連携の3コース制。 物質や生命とそれらを取り巻く地球環境を総合的に捉えた視野を持つ人材を育成します。化学、生物科学、環境科学の3コースがあります。	
	化学生命環境学科	化学コース	23			4		
		生物科学コース	23	12	—	4		
		環境科学コース	17			4		
小計	150	98	32	—	20			
生活環境学部	食物栄養学科	35	20	10	—	5	専門性の高い講義や実験、実習を通じ、食と栄養のプロフェッショナルを育成します。所定単位修得で栄養士免許や管理栄養士受験資格などが得られます。 心と身体の健康について総合的に学びます。生活健康学、スポーツ健康科学、臨床心理学の3つのコースがあります。 安全で快適な衣環境の構築やライフコンピューティングにより生活改善の能力を培います。衣環境学と生活情報通信科学の2コース制。 安全・安心で快適に生活できる住環境を創造できる力を培います。学びの対象はインテリア、建築から地域コミュニティ、都市計画と広範囲に及びます。 生活を取り巻く様々な文化現象を、法律・歴史・ジェンダーなど多様な視点から分析します。生活文化の向上に貢献できる人材を育成します。	
	心身健康学科	40	22	8	—	10		
	情報衣環境学科	衣環境学コース	10			5		
		生活情報通信科学コース	11	5	—	4		
	住環境学科	35	24	7	—	4		
	生活文化学科	30	18	7	—	5		
	小計	175	105	37	—	33		
合計		475	302	114	6	53		

- 備考 (1) 文学部においては、前・後期日程とも、学科別の志望は認められません。第2年次から各学科に所属することになります。その際、定員を超過する学科については選考を行うことがあります。なお、AO入試については、本学が指定する2つの分野の中から1つを選択して志望してください。
- (2) 理学部数物科学科においては、第2年次から数学コース、物理学コース、数物連携コースのいずれかに所属することとなります。入試の時点でコース選択を行いません。理学部化学生命環境学科前・後期日程では志望するコースを選択してください。なお、前期日程においては第3志望まで、後期日程においては、コース毎の募集人員は定めていませんが、学科内で第2志望までコース選択することができます。
- (3) 生活環境学部においては、前・後期日程とも第3志望まで(情報衣環境学科はコースまで)を選択することができます。心身健康学科においては、第3年次からコースに所属することになりますが、定員を超過するコースについては選考を行うことがあります。情報衣環境学科については第1年次からコースに所属することになります。後期日程については、総合得点により衣環境学コース及び生活情報通信科学コースを一括で合否判定します。
- (4) 各学部学科で受験を要する教科・科目、配点及びその他入試に関する詳細情報については必ず平成29年度入学者選抜要項を確認してください。
- (5) 各学部の前期日程の募集人員には、本学附属中等教育学校の高大連携特別教育プログラムに基づく特別入試による募集人員(文学部2名以内、理学部2名以内、生活環境学部3名以内)を含みます。
- (6) 私費外国人留学生入試は、各学部の入学定員外で募集します。

# 平成27年度学生表彰

奈良女子大学では、課外活動や社会的活動などで特に顕著な成果を挙げた学生の個人又は団体を年に一度表彰しています。平成27年度の表彰式が、平成28年2月5日(金)に行われました。受賞者・団体は以下の通りです。(学年は平成27年度のものです。)

## 【個人表彰者】

氏名	所属	サークル等	表彰対象となった業績
小引 千寿	文学部人間科学科 4回生	ラグロス部	2015年ラグロス22歳以下女子日本代表選出(H27.5.23) 第26回関西学生ラグロスリーグ戦女子2部リーグ 最優秀選手賞、ベスト12、ベストドロー賞、得点王(H27.11.14)
野志 亜弥香	文学部言語文化学科 4回生	—	日本・ベルギー友好150周年 公式ロゴマークコンクール 第1位(H27.2.11)
安井 美月	理学部物理科学科 3回生	弓道部	第53回近畿地区国立大学体育大会 弓道女子個人 優勝(H27.8.27)
尾崎 裕香	大学院人間文化研究科 博士後期課程共生自然科学専攻 3回生	—	国際ソロブチミスト奈良-まほろば クラブ賞(H27.6.19)
岡田 寿美	大学院人間文化研究科 博士前期課程心身健康学専攻 2回生	—	国際ソロブチミスト奈良-まほろば クラブ賞(H27.6.19)
佐田 菜摘	文学部人間科学科 3回生	硬式テニス部	第39回奈良学生テニス選手権大会 女子シングルス 第1位、女子ダブルス 第1位(H27.11.29)
中居向 朝海	理学部生物科学科 3回生	硬式テニス部	第39回奈良学生テニス選手権大会 女子ダブルス 第1位(H27.11.29)

## 【団体表彰者】

サークル等	表彰対象となった業績
音楽部	第70回関西合唱コンクール 大学戦場一般部門 大学ユース合唱の部 少人数 銀賞(H27.10.11)
バドミントン部	第53回近畿地区国立大学体育大会 バドミントンの部 女子団体 優勝(H27.8.21)
剣道部	第53回近畿地区国立大学体育大会 剣道の部 女子団体 第2位(H27.8.23)
バレーボール部	第53回近畿地区国立大学体育大会 バレーボールの部 女子団体 第2位(H27.8.23)
奈良の食プロジェクト	第7回味噌たまご甲子園 学生の部 準優勝(H27.3.15)
点訳部	国立観河療養所への長年の訪問に対する感謝状(H27.6.10)



編集・発行/奈良女子大学広報企画室 編集責任者/室長 小路田泰直 連絡先/奈良女子大学総務・企画課

〒630-8506 奈良市北魚屋東町 Tel 0742(20)3220 Fax 0742(20)3205 E-mail somu02@jimmu.nara-wu.ac.jp

ならじよ Todayへのご意見・ご感想を是非お聞かせ下さい。より良い誌面作成のため皆様の叱咤激励をお待ちしています。(編集部)

■バックナンバーはHPをご覧ください。▶ <http://www.nara-wu.ac.jp/nwu/intro/today/index.html>